

ChattyInfty における

ー原本ルビ版と総ルビ版の一体製作方法ー

ChattyInfty3 でのマルチメディア DAISY 製作において、原本ルビと総ルビ版の DAISY を一つの製作フローの中で効率的に製作するためには以下の手順が有効です。

方法 1 （1つの imlx ファイルから全ルビ版と原本ルビ版を出力）

マルチメディア DAISY の教科書・教材製作では、同じ内容で原本通りにルビを振ったものと全ルビの二通りのコンテンツを製作する必要があることがあります。そのような場合には、一旦全ルビで作成し、

原本にルビがあった 語句を選択 → Ctrl + Shift + ↑

を押すと、次のようなルビ修正画面が現れます。そこで「表示レベル設定」を選択します。



この右側の図のように、「常に表示する（原本ルビ）」に設定したルビは、全ルビの削除機能を実行しても消されずに残ります。従って、全ルビで ChattyInfty のコンテンツを完成した後で、原本にあるルビについては、「常に表示する（原本ルビ）」に設定すれば、同一のコンテンツから自動変換（ルビ削除と DAISY 出力）で、全ルビと原本ルビの二通りのマルチメディア DAISY 製作が可能になります。

方法 2

1. 先ず、原本ルビ版を製作します。その場合、原本にないルビは振らないようにします。（以下、そのファイル名を `aaa.imlx` とします。）
2. 次に、「Set original ruby level 0.」という 1 行だけのテキストファイルを作成し、「Addruby_setting.ini」という名前のファイルを作成し、1. で製作した原本ルビ版の

imlx ファイルと同じフォルダに置きます。Addruby_setting.ini のファイルはサンプルが ChattyInfty のパッケージに含まれていますので、参考にして下さい。

3. ChattyInfty の「ファイル」「エクスポート」から、「全ルビ変換」を選んで実行します。全ルビ変換には、単語単位・文字単位と分かち書きの有無により 4 種類ありますが、どれでもいいです。全ルビ変換を実行すると、元の imlx ファイルにあったルビは原本ルビと判断され ChattyInfty の画面ではルビが赤く表示されます。後から自動変換されたルビは黒く表示されますので、区別はしやすいと思います。

4. ルビの修正や原本ルビ指定の仕方、解除方法などは、パッケージに含まれているマニュアル「ChattyInfty for AITalk 基本操作ガイド」の 1-12 節に解説がありますので、参考して下さい。(注：製作ガイドでは「常に表示」となっているところが、最新版では「常に表示 (原本ルビ)」と変更されています。)

5. 以上のようにして製作後、マルチメディア DAISY、或いは EPUB3 出力すると全ルビファイルが作成され、原本ルビには「original」属性が付与されます。昨年度リハ協での協議に基づき、最新の (或いは今後の) EPUB プレイヤーでは、ユーザー側で全ルビと原本ルビを選択できるようになります。ChattyBooks / ChattyBookExpress ではマルチメディア DAISY でも、ユーザー側で自分の学習度に応じたルビ表示切り替えができ、その際、全てのルビを表示 (全ルビ) や原本ルビを選べるようになっています。

以上

問い合わせ先：

NPOサイエンス・アクセシビリティ・ネット事務局

e-mail: support「@」mail.sciaccess.net (「@」は @ で置き換えてください。)

URL: <http://www.sciaccess.net/>